

# ヴァイオリン 千住真理子

～ 千住 & 初山 / 山フィルシリーズ Vol.8 ～



序曲  
「ローマの謝肉祭」  
ベルリオーズ  
*Berlioz*

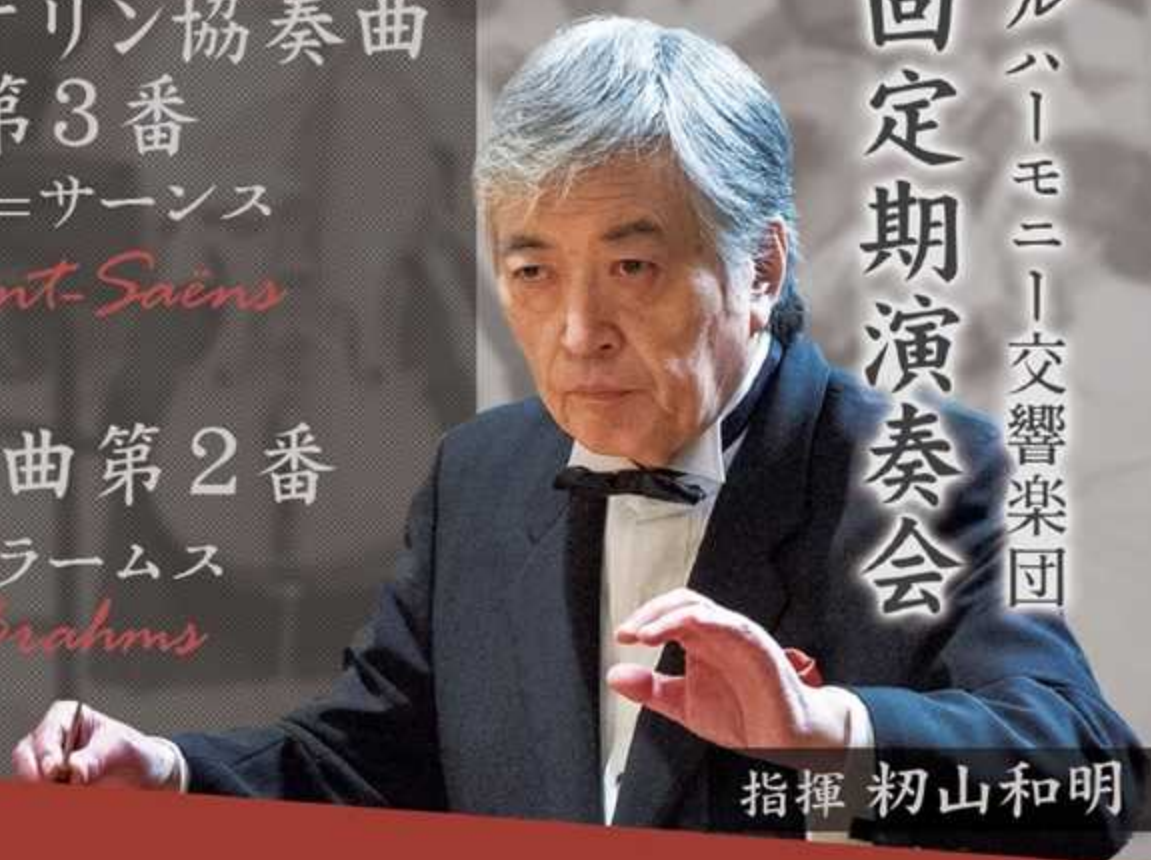
ヴァイオリン協奏曲  
第3番  
サン＝サーンス  
*Saint-Saëns*

交響曲第2番  
ブラームス  
*Brahms*



第61回定期演奏会

山形フィルハーモニー交響楽団



指揮 初山和明

2022

11/5

＜令和4年度 県民芸術祭特別参加・山形市芸術祭参加＞

[土] 18:30開演(17:30開場)

山形市民会館 大ホール

写真 宅間国博

チケット  
(全席自由)

一般 1,500円(当日 2,000円)

学生 1,000円(当日 1,500円)

※満席となった場合、当日券の販売を行わないことがございます。あらかじめご了承ください。

お問合せ先

団事務所

TEL | 080-1857-4371

MAIL | yamagataphil@gmail.com



山フィル公式ホームページ  
<http://ks1.kj.yamagata-u.ac.jp/~yamaphil/>

山フィル



プレイガイド

山形市民会館  
023-642-3121

TENDO八文字屋  
023-658-8811

富岡本店  
023-641-0644

管楽器工房Brass 東根本店  
0237-53-0241

インターネットでの  
チケット予約はこちら



最新情報はこちらから  
ご確認いただけます。

●託児所のご案内● 当日は会場内に託児所を設置いたします。お子様お一人につき500円をご負担いただきます。10月24日(月)までに団事務所へお申し込みください。  
※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、託児の実施を中止する場合がございます。 ※やむをえず曲目等の内容を一部変更する場合がございます。  
●市民会館バリアフリー入口のご案内● 市民会館事務室側(南西、フォーラム側)の段差のない入口からもご入場いただけますので、ご利用ください。

主催:山形フィルハーモニー交響楽団、公益財団法人 日本交響楽振興財団  
後援:山形県、山形市、上市市、天童市、山形新聞・山形放送、さくらんぼテレビ、エフエム山形



競輪の補助事業

この演奏会は、競輪の補助を受けて開催します。

<https://jka-cycle.jp>

# 山形フィルハーモニー交響楽団 第61回定期演奏会

## ヴァイオリン 千住 真理子 *Violin*

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶應義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、87年ロンドン、88年ローマデビュー。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽賞奨励賞各賞受賞。1999年2月、ニューヨーク・カーネギーホールでのウェイル・リサイタルホールにて、ソロ・リサイタルを開き、大成功を収める。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。イザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」、バッハ無伴奏ソナタ&パルティータ全曲「平和への祈り」をリリース、両作品ともレコード芸術誌の特選盤に選ばれた。ピアニストの横山幸雄と「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集 Vol.1, Vol.2」をリリース。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐にわたり活躍。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」「ヴァイオリニスト 20の哲学」「母と娘の協奏曲」「命の往復書簡2011~2013」「千住家、母娘の往復書簡」(文藝春秋社文春文庫)など多数。



写真 宅間国博

## 指揮 和明 和明 *Conductor*

東京出身。幼少よりヴァイオリンを宗倫安氏に師事し、1968年桐朋学園高校音楽科(弦楽科)入学。第22回毎日学生コンクール・ヴァイオリン部門第2位受賞。また指揮と室内楽を齋藤秀雄氏に師事する。在学中同学園オーケストラを指揮し、学内指揮オーディション第1位を得て、1974年同楽団のアメリカ演奏旅行に同行し、ニューヨーク・カーネギーホールほか各地で演奏する。

1975年桐朋学園大学卒業と同時に新日本フィルハーモニー交響楽団に指揮者として入団、小澤征爾氏の副指揮者として活動をはじめるとともに、人気TV番組「オーケストラがやって来た」等に多く出演する。

1976年からチェコのプラハにてチェコフィルハーモニー交響楽団、ブラチスラヴァではスロヴァキア歌劇場で、指揮者Z.ゴシュラー氏のもと研鑽を積む。同年キジアナ音楽院(伊・シエナ)において特別賞を受賞し、記念演奏会でプラハ音楽院オーケストラを指揮する。

1978年からロンドンBBC交響楽団で研鑽を積み、1981年からは文化庁海外派遣指揮者として再度ロンドンに滞在する。

1983年宮城フィルハーモニー管弦楽団(現・仙台フィル)常任指揮者に就任し、6年間同楽団の向上発展に尽力する。また1985年以来韓国ソウルの音楽界に多く招かれ、ソウル市立フィルハーモニー管弦楽団、コリアン交響楽団、ソウルアカデミーオーケストラ等の客演指揮者として非常に高い評価と人気を得ている。

1985年から桐朋学園オーケストラの指揮者として母校での指導を始め、また1998年11月には神戸にて、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団の奏者たちを中心に国内外多数の奏者による「1000人のチェロコンサート」を指揮して大きな話題となった。また、2005年開催の愛知万博「愛・地球博」でEXPOドームにて記念コンサートを指揮する。

2009年3月、新設された「韓国交響楽団」の創立記念演奏会の指揮者として招聘され、ソウル芸術センター大ホールにて同楽団を指揮する。

山形フィルハーモニー交響楽団には1990年以来客演多数、1994年より音楽顧問に就任。当団の指導を通し、山形の音楽文化向上に貢献している。



## 管弦楽 山形フィルハーモニー交響楽団 *Orchestra*

「山フィル」の愛称で親しまれている山形フィルハーモニー交響楽団は、今年で結成71目を迎える全国屈指のアマチュアオーケストラです。地域に根差した音楽活動が評価され、2019年には文部科学大臣より「地域文化功労者表彰」を授与されました。これからも山形の音楽文化向上のため、充実した活動を展開してまいります。

### 【主な受賞歴】

第1回山形市芸術文化協会賞(1989年) 第8回山形市文化振興基金賞(2002年) 県民芸術祭大賞(1996年、2014年)  
県民芸術祭優秀賞(1983年、86年、87年、90年、92年、2004年、2010年)  
第46回斎藤茂吉文化賞(2000年) 山形市制施行125周年記念教育・文化等功労者表彰(2014年)  
令和元年度地域文化功労者表彰(文部科学大臣表彰)(2019年)

## 山フィル団員大募集中!



団員募集特設ページは  
こちら!

